



いろんなモノの値段あがりすぎじゃない？

食材や光熱費等の物価上昇が止まりません。賃上げされても生活が厳しいままという声も多いです。その厳しさの背景には実質賃金のマイナスが挙げられます。



実質賃金のマイナスって？

賃金に物価の影響を反映したのが実質賃金です。賃金が1割あがっても、物価が2割あがったら実質賃金はマイナスになります。

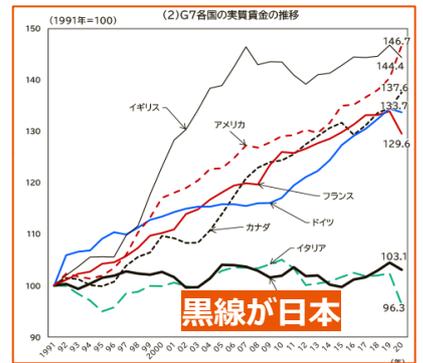
実質賃金が全然上がらない日本

30年間の変化（1995→2025）

- お米5kgの値段
2,269円 ▶ 3,679円
- セブンスター(タバコ)の値段
220円 ▶ 600円
- ディズニーランド入場料
4,800円 ▶ 10,900円



一方で1995年のサラリーマンの平均年収は約409万。今とあまり変わりません。モノの価格上昇に賃金が追いつかず、実質的な賃金はマイナスに…



物価高が続く主な原因は？

①人件費や原材料の高騰



食べ物や製品を作る人の賃金や、それぞれに必要な原材料も、値上がりし続けている！

②世界の紛争で、エネルギー価格が上昇している。



産油国が生産量を減らすし、輸入国への輸送費も、日本国内での輸送コストも上がる！

③海外の購買力に日本がおいつけていない。



アメリカやヨーロッパ諸国の賃金は30年で2倍以上上昇！それらの国の賃金基準で価格がつくと日本人は買えない！

郡山りょうの政策 物価上昇に負けない賃上げ実現へ！



価格転嫁や公正な取引で収益と賃金を上げる

皆さんの製品が適正な値段で売られるように整備を進め、会社の収益性を改善し、賃上げにつなげます。



中小企業を支援し、賃上げしやすい環境を作る！

地域が一丸となって中小企業・地域の振興に取り組む「中小企業振興基本条例」の制定を推進し、賃上げにつなげます。



「同一労働同一賃金」の実現で賃金格差を無くす

性別、年齢、働き方を問わず、不合理な賃金差別をなくしていくことで、賃上げにつなげます。

なぜ国会には、衆議院・参議院の2つがあるんですか？

既読



皆さんの多様な意見を、よりきめ細やかに丁寧に、政治に反映させるためです。

衆議院・参議院って、何が違うの？

衆議院 立場が不安定な分、優先される。

- ・任期は最大4年。いつ解散するか分からない。
- ・国の予算は、衆議院が先に議論をする。
- ・参議院と意見が違ったら、衆議院が優先される。
- ・総理大臣含む内閣を総辞職させる案を出せる。

参議院 立場が安定、じっくりチェック。

- ・任期は6年。解散はない。
- ・国の決算の議論を重視する。
- ・一時的な世論や内閣の動向を気にせず、腰を据えて議論できる。

どちらか1つだけでいいのでは？

①法律を作る国会の権限が、1つの機関の集中してしまう。



(総理大臣)
国会の多数派がそのまま内閣を作るから、国会を自分の言いなりにしよう…

②1つの機関の行き過ぎた行動をチェックできない。



(国民)
働く者を脅かす政策を強行する国会を止められない！

③1回の選挙の世論で形成された国会で議論が進んでしまう。



(政権を支持する議員)
選挙に勝ったから、何でもできるよね～

海外では、どうなってるの？ (2つある国は2院制、1つだけの国は1院制です)



世界190カ国の議会で、約6割(112カ国)が1院制。

しかし、民主主義を採る主要な先進国では、2院制が主流。

(例) 日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、カナダなど、G7サミットの参加国は全て2院制。(出典：列国議会同盟)



以前と比べて、「両方ともあまり差が無くなっている」と言う人も多います。しかし参議院こそ、全国の皆さんとじっくり向き合い、幅広く声を聴かせていただく余裕もあります。長期的な視野で政策を議論し、実現できる「良識の府」とも呼ばれています。

